

■欧州：欧州委員会、エネルギー気候変動政策の進捗状況を評価

欧州委員会は 2017 年 2 月 1 日、「EU エネルギー同盟（エネルギー安全保障や低炭素化等の課題への一体的な対応を目指す EU のコンセプト）」の現状に関する第二次報告書を発表した。報告では、温室効果ガス（GHG）削減、再エネ導入、エネルギー効率化について、2020 年までの数値目標達成に向けた進捗状況も明らかにされている。それによると、いずれも 2014 年実績で、EU 全体の GHG 排出量は 1990 年比 22%減(2020 年目標は 20%減)、最終エネルギー消費に占める再エネ比率は 16.0%（同 20%）であった。また、エネルギー効率化については、2014 年の最終エネルギー消費量が石油換算 10.62 億トン（2020 年目標は 10.86 億トン）、一次エネルギー消費量が石油換算 15.07 億トン（同 14.83 億トン）といった実績が示され、欧州委員会は順調な進捗状況を強調している。